京城新聞

●滿洲の日露連絡

滿鐵役員 岡本博士談

△滿鐵の客車と待遇

大連方面の事情は御承知でございますから別段申上げる迄もございませんが、一寸私の會社に就いて新聞などでも誤解して居り[illegible]事があります[illegible]て一二の申開きを[illegible]それは外でもご[illegible]待遇[illegible]是は私も自認[illegible]鐵道の組織は内地[illegible]鐵路から引[illegible]作年末[illegible]丈で營[illegible]年でございますが[illegible]等それから二等[illegible]現在は一等二等三[illegible]此夏組立が出來[illegible]船の行違ひから亞[illegible]料が途中で破損し[illegible]組立が遲れて居り[illegible]一等車が出來上つた[illegible]から、是から追々出[illegible]やうなのに御乘り[illegible]等車で其次の三等と[illegible]を運ぶ爲め腰掛のな[illegible]三等車は内地の方に[illegible]樣の積りで三等切符[illegible]下流の人に見へます[illegible]は實際二等車と同じ[illegible]支那人の大蒜臭い[illegible]だらうと云ふので[illegible]會社から「アームチエヤー」を取り上げて夫を客車に置いたといふ苦しい状態であります、新聞で見ると滿洲鐵道は不完全だ、僅に關外線に勝る位に過ぎぬと云ふ非難が見ゑますが、吾々の方は極力乘客の便利を圖るに努めて居るのです、先程申しました種々の状態の爲に未だ目的を達しませんが最う少し時を御貸し下さつたら上等客には上等の待遇をする積りで又將來は二等を拔いて一等三等四等にしやうと云ふ考があります、當分滿洲に御出になる高貴の方はますが二等に乘りにならぬやうに希望します、二等といふても賃金は割合に安くしてあるので、唯單に内地に比較して惡いと言はれては困ります、二等は即ち日本の三等に乘るのだと云ふ考で御出を願ひたいと云ふことを御斷りしたい、待遇問題に關して露りを引合に出しては宜くないか知りませぬが、先達私は日露鐵道の連絡線途の下相談に六月から七月に掛けて哈爾賓へ參りました、歸りに歐羅巴人に逢ひました、其人は仕合せに初めて乘つた人で露西亞の鐵道は堪らないが此の方へ來ると日本人は潔癖だから奇麗で設備は不完全だが衛生的だと云ふてとは認める、列車のボーイも待遇も親切だと言つて賞められて大に有難く感じました、事實に於て哈爾賓からの鐵路、長春から此方へ參つて寛城子迄の間の半分程手前の所で、汽車が線路破損の爲め二十三時間止りました、其時などは實に驚きましたが、是に對して何等の注意客でございますが、吾々は兎に角一等も與へない、乘せて貰ひたいと云ふから乘せて遣つたと云ふ位の有樣に感じました、斯う云ふ惡い方面を見て貰つたら日本の遣方が惡いのではないことが分らうと思ひます、素より及ばずながら日本の勢力範圍の擴張せられる所に於て、會社の一人として働いて居りますから、皆樣に於ても十分御[illegible]仰せ下さつて改めさせるやうに願ひたい。

●新刊紹介

●東京經濟雜誌 依例有益なる記事を多く以て滿載せり「日米兩國の親交」「政府は收入問題の困難を招く勿れ」「米國の富」等實益文字の外に溢れ居れり（一部十三錢半四百六十二號東京々橋區彌左衛門町東京經濟雜誌社）

●日本經濟新誌 本號の重要記事は「東洋拓殖會社の經營方針に就て」「東京經濟雜誌記者に答ふ」「滿蒙問題の解決」「[illegible]」（一部十三錢四卷二號東京々橋區新肴町日本經濟新誌社）

●米國艦隊歡迎號 雜誌「實業」の臨時號として發行せるものなり表紙寫眞版共に華麗にして鮮明内容は「歡迎の辭」を冒頭に名士の米國艦隊來航に關する意見談話等趣味津々たり[illegible]すべきものあり（一部廿一錢東京京橋區宗十郎町日本貿易協會）

●會報 大連實業會より發行せるもの内容は大連に於ける最近の經濟事情を記述せり

（五十二）

河合柳葉

八月の某日の事であつた、御室家の家令漆川道恭が玄關を訪れた一人の若者がある。年の頃は二十四五の色の小白い背のスラッとした痩肉の男で、身には白大名の木綿の單衣の上に小倉織の單帯を締め、微塵くブシの白つぽい羅の羽織を着て、其の品格の何邊やらに商人風が微見れて居る。

「お願ひ申します。」

訪ふ聲に、取次に出たのは召使の婢であつた

「誰方さんでございます。」

若者は饅頭帽子を手早く脱して、鮮より先に些と腰を折つて一禮をなし

「私は町田長次郎と申すものでございますが、旦那樣は本宅でございませうか。」

「はい、旦那樣は御屋敷へお出になつてた留守で被在います。」

「奥樣は御在宅でございませうか。」

「はい奥樣は被在られます。」

「では、失禮でございますが、山城の宇治の松右衛門の家から參つたものでございますが、些と御目通りが願ひ申したうございますと、お取次が願ひたうございます。」

「山城の宇治の松右衛門でございますね。」

「はい。」

「そして貴方のお名は何と有仰いましたのでしたかね。」

「私の名は町田長次郎でございます。」

「では、暫くお待ちを願ひます。」

と、婢は奥に入つたが、間もなく現はれて

「どうぞお通り下さい。」

若者は婢に[illegible]一間に案内された。待つ間程なく入つて來たのは漆川の妻の時子である、五十二三の上品な婦人で、髮は品の良い小さな圓髷に、紋絣の帷衣の上に鐵色無地の博多の單帯を、キチンと結び、靜かに坐に着いた町田はそれと見るより容を正し

「これは奥樣で被在いまするか、始めてお目通り致します、私は山城伏見のものでございまして町田長次郎と申すものでございます、暑さの砌でございますが、御健勝でお目出たう存じます。」

時子は愛嬌よく、

「彼の宇治の松右衛門の家からお出になつたのは貴方ですか、ヲヤ然うですか、松右衛門は夫婦共に健康に暮して居りますか……然うですか書面は能く寄來して下れますけれど、此方に來てからと云ふものは、一度も顔を見ないんですから。此方も年を取りましたが、彼等も幾年を取つたであらうと思つて、能く噂を爲て居りますよ。して、何か松右衛門から頼まれていで下さいましたか。」

云はれて町田は極惡しげな樣子で、

「いゝえ、松右衛門さんから頼まれた譯ぢやございませんが、折入つて旦那樣にお願ひ申したい事があつて態々上京致したのでございます、委細はどうぞ此れを御覽下さいますと、詳く認めてある譯でございます。」

と云ひつゝ懷中より、一通の書面を取出して奥方の前に進めた。

時子はそれを手にして見ると、松右衛門から良人に宛てた書面であつたゆゑ、

「中には甚麼事が認めてあるか知りませんけれど、只今お屋敷へ參つて不在でございますから、モウ追付歸る時間です、暫くどうぞ待つて下さい。」

「では、御邪魔でございますが、暫く失禮致します。」

●照會欄は特に本日丈け休載す

東國閑聞

韓人債務の解放

所謂仁政也

昔者羅馬に於てグラシュスの如き富豪等が高利の貸金をなし債務を果さざるものは些少の寛恕もなく其財産を横領したる爲に債務者は極度の困憊に陷落せり、グラシュス一派の高利貸は其富の勢力に依りて政權を左右し放[illegible]るなし、茲に於て英雄シーザーは[illegible]し其弊害を除却せんとして此等の[illegible]放令を發せんとしたるに、[illegible]して之を防禦せんと[illegible]ブルタスをして英雄シーザーを刺さ[illegible]我邦國に於ても富の偏頗及び富者の苛斂は細民をして自暴自棄に陷入らしめ國家生産の元氣たる勞力を滅殺せしむるに至るを以て之が爲には多くの政治家が苦慮するなり、支那に於ても王安石は此の債務解放に力を盡くし富者の壓抑を制したり、[illegible]日本に於ても幕府の中頃より地[illegible]小作人及び細民に對して[illegible]地主の爲に勞働する傾きと[illegible]細民は[illegible]の爲に終生營々たるが如[illegible]なるを以て、賢相松平越中守の如[illegible]は此弊害を看破し國の生産力を害するを憂ひ種々に其矯正策を講じ、地主に對し債權者に對して債務の解放を命じ細民の窮苦を救ひて自暴自棄に陷入らしむる事なからしめたりき萬民歡呼して能く業を勵ましむるは政治の要義なり、民の[illegible]び[illegible]し働く事を得せしむるを仁政と[illegible]韓國現時の國民[illegible]如何、地主と小作人との關係は如何[illegible]之を觀察するに地主の壓抑官吏の[illegible]小作人の窮苦は極點に達し今や[illegible]の狀態にあるの觀なくんばあらず、渠等小作人は地主より其收穫の半を得るの定めなるも舊債あるが爲に其所得の多分を徵せられ營々額に汗して働くも漸く口を糊するに足らず、勢ひ失望自棄して勞働の甲斐なきを歎ずるに至る、此儘にして繼續すれば年々其生産力を減殺するに至らん、勞働者にして勞を厭ふて働かざれば如何に農事の改良をなすも肥料を用ひんとするも[illegible]を期待する能はざるなり、[illegible]らば如何にして此弊害を除却し得べき乎、[illegible]の改[illegible]法令の制定も亦必要なるべしと[illegible]も直接に此弊害を除却するに尤も力あるものは舊債務の解放なり、最も適切なる一例を擧ぐれば、余輩の知れる韓人あり之は地方の地主にして五百戶余を有する村落の富豪なり、五百戶の村民は概して此地主に債務を負はざるはなし、年々此等小作人の所得より幾分を舊債に償却せしむる約束なり、然るに小作人等は其所得より舊債に引かるるに於ては生計を立る能はざるより苦窮の余り一策を案じ稻の未だ能く熟實せざるとき夜間に乘じ之を苅取りて隱蔽するに至れり、故に年々舊債を償却せしむるは[illegible]約束の[illegible]收むる能はず、是を以て渠は深思熟慮の末昨年村民を集めて舊債證書を眼前に[illegible]して些の債務なし[illegible]の收穫にて約束を履行せよと諭[illegible]、爾來汝等は我に對[illegible]り而して今年の結[illegible]は雀躍して歡呼せ[illegible]の如く結果極[illegible]と思ひしに果して[illegible]茲に於て債務の解[illegible]なりとの報あり、[illegible]互の利益たる事を知れり、債務ある[illegible]者小作人の苦むのみならず地主迄其所[illegible]するなり、之が解放は實に地主にも[illegible]所ありて小作人の自暴自棄を救ひ一[illegible]産力に多大の益を興るものなり、統[illegible]宜しく韓國政府に之を斷行せしめて[illegible]政治の仁政を知らしむべし何れにも[illegible]して生産力の增加を得る此解放は[illegible]最好の事に非ずや、昔て歐米に於て奴隸解放を斷行して相互に益を得て世は之を美擧と稱贊したるが、韓國の舊債務解放は相互の良結果を與ふる良法なり、國民は仁政として統監政治を謳歌すべし、余輩は當局者が之を速に斷行せんことを勸告するものなり

東京電報

▲米國實業家の質問

今回來朝せる米國實業家は我國視察中見聞の疑議に就き當局者に質問したるが其要點左の如し

一、日本に於ける實業教育に關する件

一、日本に於ける實業教育は如何にして發達せしや又現在に於ける方法如何

一、如何なる學校に於て如何なる程度にて英語を敎授しつゝあるか

▲鶴原氏敍勳

鶴原定吉在職中の功勞を思召され勳二等に敍せられ旭日重光章を下賜さる

▲唐紹儀一行へ恩賜

天皇陛下より唐紹儀一行へ夫れ〳〵恩賜品ありたり

▲樞密院會議

今日の樞密院會議に於て左の通り可決せり

一、關東都督府職員任用令改正の件

一、陸海軍刑法改正の件に伴ふ職員任用令中改正の件(以上二十八日發)

雜報

●間島問題未決

間島問題は清國の主張を容れ彼に讓步することに決したる如き風說あるも伊藤統監側は之を打消し政府に於て讓步すとせば必ず其の前に統監の意見を徵すべき筈なるも未だ曾て其の事なし且當初間島問題を提議するに就ては素より同島が韓國の領土たる歷史と證據とを十分なりしが爲なり、淸國は此の歷史と證據とを打消するだけの證據を提供せんとして幾回の交涉を重ねたるも[illegible]は其の後宮中に在る故籍を調査し韓國政府に益々韓國の領土たるを明かにするを得此等の證據も追加し提出したる筈なれば今日淸國の主張を容れ讓步するが如き事は万なかるべしと

●長白山の鑛山

鴨綠江右岸長白山下通化縣に大金銀鑛あり廣く二十八區に亘り銅鐵諸鑛にも富み非常に有望なる由は滿州土人の普く知る所なるが今回倫敦に於て一の有力なるシンヂケート組織せられ右鑛山を直接經營するに決したる如く或新聞に傳へられたるも右鑛山は日露戰爭前露國グッシュ商會が早くも目を附け一淸人と共同計畫にて時の奉天將軍增祺に採掘を出願し假許可を得たるも未だ北京戶部の本許可を得ざる內戰爭となり打過ぎたるに趙爾巽の時再び其の計畫を新にし人を派して調査せしめし爲忽ち日本人の知る所となりグッシュをして斯る大鑛山を獨占せしむる不利を說きて興銀副總裁佃氏をして十數萬圓をグッシュに提供して更に日淸英の三聯合事業たら[illegible]んとせしに偶然北京戶部は右淸人とグッシュとの契約が單に增祺の默許に止り戶部の執照なきを理由として應ぜざるより佃氏は大に窮し遂に滿鐵に其の跡を引受けしめんと說き附け恰も同社は後藤男大風呂敷方針の最中なれば二ツ返事で引受けたるも戶部との交涉未だ圓滿に捗らざる爲目下行惱の狀態なれば英國シンヂケートの成立は俄に信ずべからざるが如し

●韓皇の賜勳

韓國皇帝は曩に和田岡崎第十三師團長の駐韓中の功勞を思召され特に勅使を巴城館に差遣せられ大勳李花大綬章を賜はりたり

●師團司令部の出發

明治三十八年以來韓國に駐剳し暴徒討伐其他に多大の功勞ありたる第十三師團司令部は岡崎師團長以下幕僚とも既記の如く昨日假司令部たる巴城館を引拂ひ午後三時南大門發の列車に投じ凱旋の途に就かれたり此日停車場に見送りたるは曾禰副統監長谷川軍司令官韓國各大臣及び日韓文武高等官居留地有志者新聞記者等數百名にて居留民團にては烟花を打揚げ國旗を揭揚して惜別の意を表したり

●天長節觀兵式

來る十一月三日午前十時半より龍山練兵場に於て陸軍觀兵式を施行せらる出場諸隊は左の如し

第六師團司令部
在京城並龍山步兵部隊悉皆
在龍山工兵中隊
在京城野砲兵一中隊
在京城軍樂隊

●京城民間祝賀會

來る十一月三日天長節民間の祝賀會は午後五時より日本人倶樂部に於て催すことゝなり出席者は會費二圓を添へ民團役所に申込まるべし

●水雷艇拔錨

再昨日仁川に入港したる水雷艇隼、鵲、千鳥、眞鶴の四隻は昨日午前十時五十分仁川港を拔錨し鎭海灣方面に向ひたり

●西湖津上陸

咸鏡北道咸興駐屯の騎兵第六聯隊は本月二十六日午後七時西湖津に上陸せり

●鎭衛隊復設の說

昨年七月軍隊解散以來暴徒地方に蜂起し漸次猖獗を加へ地方良民の之れが慘害を蒙むるもの少からざるに依り韓廷に於ては此際鎭衛隊を復設し樞要の地に駐屯せしめ此等の暴徒に備ふることに決したりとの說を傳ふるものあり

●仁川第二民會

仁川第二民會は豫報の如く一昨日午後七時より開會せられたり田中議長以下出席議員十八名着席するや議事は直に開かれ議長は前回選擧の會計檢查員三名の中一名が過半數に達せざりしは規則違犯なりとの理事顧問の通達を議員に告げ終に特別條文に依り議長指名とし直に[illegible]加藤、稻田の三氏を指命し次に議事日程を變更して第七十一號議案共同墓地通路變更の件に移りたるが富田民長の說明終るや稻田、潁原、桑野、加來氏等相次いで各自說を述べ終に理事者責任を述べ或は村谷氏に極端なる批評を試む等議論紛出したるが結局加來氏の提案せし委員附托說に贊同し委員五名は議長の指名することに決して第七十號議案仁川居留民團仁川病院規則中改正の件に移りたり

本議案の要項は經費節減の爲め從來五科ありし科を內外の二科とし各醫長五名とあるを二名に改正するものなるが富田番外は之を秘密會に附すべしと主張したるも稻田、潁原、今井氏等の不贊成ありし爲め遂にならず潁原氏病院の豫算說明を要求し橫山助役は政治家的辯論を以て病院の性質を歐米に例を執りて說明し仁川の如き小居留地にて之れを支ふべきものにあらず宜ろしく韓國政府に施設せしむべし縮少は絕對に不可なりと主張し今井氏は事大問題なれば委員附托になすべしと云ひ青木氏は理事者が小刀細工にて病院を料理せんとするも到底なし能はざることなれば宜ろしく委員五名を選び病院の現狀及改正後如何なる結果を來すやに就き調査研究をなすべしと論じ加來氏は仁川に於ける目下及將來の狀況より見る時は斯く壯嚴なる病院を維持するは頗る困難なることとなれば今井氏の說の如く委員をして調査せしむるなれば其の意味を擴め「仁川病院を如何にするや」を研究すべしと縷々數百言を述べ桑野氏又加來氏の說に贊し病院の禍根を絕つべしとの意を論じたるが結局加來氏の說は潁原、今井、青木氏等の說を折衷したるものなりしかば皆之れに贊同し終に委員七名(內一名は議長)を議長指名することに決して議事を終結し協議會に移れり時に十一時半なりき

●在韓商業會議所聯合會

在韓日本人商業會議所聯合會は二十七日より本會議に入り先づ議案整理の爲め委員附托と爲し一昨日も引續き午前九時より委員會開會諸般の報告あり夫れより協議會に移り左記議案に付き各提出者の說明及委員の質問等あり午后四時散會せり尙ほ昨日も引續き開會したり

第七次聯合會提出議案

第一號(鎭南浦、木浦提出) 韓國農事改良に關し其筋へ建議の件

一 各郡衙に勸業課を特設し專ら農政を司らしむること

二 各樞要の地に農事試驗所を設置し農事改良に關する模範を示すこと

三 各郡に數ケ所の農具供給所を置き耕耘上收穫上に必要なる器具の普及を計ること

(說中除草稻扱法の改良の理由を記すること)

第二號(仁川、木浦提出) ○本邦主要地米穀取引所に對し其授受代用米中に韓國米を採用せしむる件に付其筋へ請願の件

第三號(京城、鎭南浦、群山、平壤提出) ○日本人商業會議所に關する法規發布の件

第四號(仁川提出) ○產業組合又は同業組合に關する法規の發布を其筋に請願の件

第五號(仁川、大邱提出) ○韓國鐵道荷客短巨離賃錢低減を統監府へ請願の件

第六號(大邱提出) ○關稅に關する證明手數料廢止に付請願の件

第七號(仁川提出) ○韓國政府內に日韓人聯合より成る港灣調查會を組織せられんことを統監府に請願するの件

第八號(京城提出) ○滿韓聯絡船急設の件

第九號(委員會提出) ○韓國中央銀行設立に付其筋へ請願の件

第六次聯合會に於ける左記決議の實行を其筋へ促すの件

一 輸出稅全廢の件

二 滿韓聯絡鐵道速成の件

三 各港に於ける稅關鑑定價格の均衡を保たしむるの件

四 度量衡法勵行に關し意見開申の件

五 勸業拓殖に關する金融機關急設に付其筋へ建議の件

六 在韓邦人中暴徒被害者に對し賠償方建議の件

●民團會計檢查

新撰會計檢查員中村再造、秋吉富太郎、關繁太郎、松永達次郎の四氏は本日午後十時より京城民團會計檢查を爲すと云ふ

●滊車時間の改正

統監府鐵道管理局にては來る十一月十一日より全線の列車發着時間を改正する由其改正の要點を擧ぐれば京義線內改良工事の漸次進捗に伴ひ列車の速力を增加し從來の釜山新義州間直通列車は全區間に於て實に一時間二十分を短縮し廿五時間を以て達することとなり尙京釜線晝間急行列車も此際廿分を短縮せり右速力增加に伴ひ南大門釜山新義州其他主要停車場に於ては可成都合よき時間に發着せしめ從來の新義州發午前七時を七時五十分發に釜山發午後八時を九時三十分發に繰り下げ一は出發時刻の早きに失するを補ひ一は釜山に於ける船車連絡上の便宜を圖りたり其の結果北行の分は太田以北に於て區間旅客の乘車に適する時刻となり水原發午前七時十六分南大門午前八時四十分發となり其他從來大西門午前六時二十分釜山行は南大門發午前六時二十分發大邱行とし大邱以南直通の便あり又京仁間は主として西大門驛附近在住外人の便に供する爲め今回急行列車は總て之を同驛まで延長運轉し尙急行以外の列車は麻浦津梧柳洞及富平の中間驛にも可成停車せしめ過剩列車を減少せり而して龍山に軍司令部、鐵道管理局等移轉の爲め龍山京城間の交通頗る頻繁を加へたるを以て全區間通常列車の間隔を時間合に於て四往復を又釜山草梁間に於ても同樣四往復の列車を發し且つ釜山鎭浦間にも二往復の列車を必要の期節に於て臨時運轉せしむる計畫なれば釜山鎭釜浦等近郊往復の便多かるべし

各線列車の接續は從來の通り重なる列車は悉く都合よく接續するの外尙南大門開城間の開城驛初列車及開城行終列車は龍山にて京釜線急行列車に又定州發新義州行新義州發平壤行列車は何れも新義州安東縣間連絡便を介して安東縣奉天間の安奉線列車に接續せしめたる等今回の改正に依り客貨輸送上一層の便利を供するに至るべし

●米穀出廻期と曳船

仁川に於ける米穀は昨今其の入津殆んど杜絕せる爲め同地の在米は皆無にして何れの倉庫も空虛となり居たるが同地市人は來月十日以降に於いて入津船の增加を見越し目下買入資金の準備をなし居れるが一般商人は昨今又仁川近海に海賊出沒するとの報に接し入津船の減少を憂ひ居れると共に鎭南浦附近に於いては穀物曳船なるものありて近海より入津する朝鮮船を援助し居れるも仁川には未だ如斯設備なき爲め米穀商は出廻期に入りて曳船會社の設立せられんことを熱望し居れり

●統監府員の贈品

伊藤統監の六十八回誕辰及び夫人誕生の祝儀として曾禰副統監各參與官香坂法務院長村田明石兩少將統監府高等官一同より淸酒一樽鮮魚一籠を贈呈せしといふ

●岩谷參謀の見送

第十三師團長岡崎中將は既報の如く昨日午後三時師團司令部と共に南大門發の列車に投じ歸還の途に就かれたるに付軍司令部よりは參謀岩谷騎兵中佐釜山迄見送の爲め同行されたり尙同中佐は歸途約一週間の豫定にて同地方を視察する筈なり

●芳澤外務書記官來京

外務省書記官芳澤謙吉氏は一昨日安東縣より入京し昨日統監府に鍋島外務部長を訪問せり

●奥技師の訪問

大藏省專賣局兼農商務省技師奥健藏氏は昨日午前統監府に曾禰副統監を訪問せり

●岩谷中佐の轉居

軍司令部參謀騎兵中佐岩谷讓太郎氏は龍山柳町四丁目新築[illegible]官舍に移轉せり

公人私人

▲門間武明氏(步兵大尉)二十八日入京山本旅館

▲奥健藏氏(大藏省技師)同上天眞樓

▲上田次郎氏(農學士)同上

▲樋口正美氏(鴨綠江採木公司理事長)同上

▲上林敬次郎氏(度支部書記官)同上山本旅館

▲中桐彌太郎氏(統監府技師)同上巴城館

▲妻木賴黃氏(大藏省臨時建築部長)二十八日平壤に向け出發

▲岡崎達光氏(東京瓦斯會社理事)二十八日歸朝の途に就く

▲中大路正雄氏(木浦理事官)同上歸任の途に就く

近事片々

▲地方● 暴徒益々猖獗の爲に鎭衛隊を復設して暴徒討伐に當らしむる杯の說あり異乎

▲豈夫● 鎭衛隊の復活杯はあるまじけれど時々霞表に出る事ある爲に甚以て氣遣はし

▲憲兵● 補助員の增募に依り鎭衛隊の復活を夢見つゝある韓人あるもそは全く風說乎

▲若し● 夫れ之が事實となりて現はるゝが如きあらば大變今より警告し置くを要す焉

▲拓殖● 副總裁の人撰何ぞ遲々たるや桂首相の部下には人材雲の如し豈夫れ爾せんや

▲松崎● 美濃部吉原酒匂と數へ來りて屈指に遑あらず中原の鹿は誰の手に落下せん乎

▲韓國● 側の分は閔泳綺と定れるが如くなるも或一說には未だ確定せるに非ずと惜々

▲總裁● 宇佐川男は陸軍部內の事務家なれば副總裁には農事的知識の人こそ適當なり

▲候補● 者の中にては酒匂常明氏尤も適任なるべけれども氏の本か拔けるや否や疑問

▲酒匂● 氏大日本精糖の社長にて取役連の折合上是非此人を要する理由もあるならん

▲事實● に於ては氏の社長は何等の效力なからん實權は舊日本精製糖連の手中にあり

▲酒匂● 氏の爲に計れば此際拓殖に乘換へるを便とせんも裏面の事情は之を許すまじ

▲前內● 務次官吉原三郎氏も事務の材幹ありて鋭敏なるも大局を見るの明を缺かん乎

▲松崎● 氏は經濟學者として堪能なるも實業會社殊に殖民的事業の衝に當るは不可能

▲寧ろ● 早川頑鐵でも引張り出して副總裁たらしめば却て其經營に見るべきもの有む

▲頑鐵● 由來きかぬ氣の男なれ共其手腕は天晴之に自由手腕を揮はせば面白しなか〳〵

▲曾て● 內田康哉と政務局長を爭ひし事あり彼の際の如き大隈伯もほと〳〵持餘せり

▲彼は● 曾て公使員として韓國にも居りたる事あり其辛辣の手腕は決して侮る可らず

▲米國● 大統領撰擧も追々近づき競爭激甚內閣大臣總出にてタ氏應援の演說をなせり

▲流石● は米國なり國務大臣迄が出馬して演說をして廻る中原の鹿はタ氏の者ならん

▲英國● ダラスゴー大學エヂンブルー大學兩總長の撰擧あり結果統一黨の勝利に歸す

▲グラ● スコー總長はカーゾン卿エヂンブルー總長はウエンダム氏統一黨の勢力分明

▲●● [illegible]の椅子は長谷場純孝氏に落ち來る可き形勢是は余儀なき成行なるべし



●暴徒の自白

—東部管内に潜伏せし者…

本月初旬頃より東部管内に暴徒一名潜伏せるとの噂が誰れ言ふとなく世人の耳にたちしより東部警察署にては專ら之が搜索に怠りなかりしが其の結果十六日に至り難なく逮捕するに至れりサテ此の者は原籍黄海道鳳山郡桃樹にて目下東部蓮花坊梨峴内四街里九十四統十戸に居住し姓名を林文敬と呼び五十九歳のヨボタレ暴徒なるが相貌見るからに狡猾凶悪何となく鋭く見え其筋の取調に聴れ居れりと云ふ今林の自白する所に依れば自分は從來暴徒の組には加はらず唯銃器買入れの世話を爲し居りたるのみにて決して惡事は働きたることなしと申し立てしも警察にては爲念も同類者にて京城に潜伏し居るものは知らずやと訊問せしに同人は猶躇なく口を開き原籍黄海道平山郡上日面桃花亭のものにて印鐘鳴(四十)といふが嘗てより自分の知り合ひにて當時は自分と同じく東部の管内に住み居るとかのことを聞き居れど唯東部とのみにて何れに身を潜め居るやは知るに由なきも警察の手にて捜索しなば間違ひなく發見さるべしとの言葉なりし爲め實は右の印鐘鳴といふは去る十日東部警察署にて同管内蓮花洞間田洞に潜伏し居るを發見せしより引致の上取り調べたる所頗る擧動不充分の爲め放還したるものなるが警察にては面の當り此の林の言葉を聞き今更ら取り逃したるを後悔せしも後の祭り今は如何とも爲す能はず兎も角も林を拘禁し訊問の鞭を續たりき然るに端緒を得て東部警察署にては去廿日の夜間卅餘名の暴徒東部城北洞に現れしより(當時の紙上にあり)濱島署長以下十數名直に現場に馳つけ撃攘せしが其際前記の印鐘鳴が暴徒の群に加はり居るを認めたれば加茂警部は愛な横着者奴がと許りに直ぐさま逮捕し本署に引致して嚴重なる訊問を爲せしに印は終に包み切れず逐一今迄の經驗を自白するに至れり今其の言ふ所に依れば自分は昨年の初め頃より暴徒の群に入り諸所を横行せしが八月頃に至りて一群の領率及び書記を勤め重もに黄海道平山郡を根據として其の附近を暴れ回はしたるが本年一月十五日巨魁よりの命令に依り銃器購入の爲め京城に入り込み當時は東部管内廣通會社の南側の門前のオントルに潜み專ら銃器の購入に從び居る中住所不定の李承徽といふものと知り合ひとなりしが其のものゝ言葉にもし銃器が必要ならベッセル氏に就て相談されては如何ベッセル氏は銃器を多數持ち居れば必ず貴殿が要り用丈の數は調達し得らるべきは疑ひなしとのことに自分はウカウカ其の手に乗り然らば二百圓の手つけを渡すべき程に然るべく購入方の取り計らひを依頼すとの約束をなし其の日はそれにて立ち分れたるが李は其の後更に自分方に寄りつかず其の金を携帯して何れへか逃亡し今に行衛不明なり話しは少し横道に入りたるが其の後は何も申し上ぐる事實なしとのことなれど東部警察署にては嚴重に拘禁し昨日二名とも裁判所へ回はしたり

●無情の夫(二)

既に可愛き小寶さへ設けた二郎は以前に倍して商賣に勵まずばならぬものを如何なる心の迷ひからか知らねど子が生れ落ちてからといふものは碌々朝市にも出ず朝から晩迄火鉢の前に蹲り込んでは酒に耽り時には夕方より何れへか出で行きしまゝ夜も遲く迄歸り來らず偶に歸れば正体もなく酩酊し何の罪咎なき女房を捕へては無理難題を持ち掛け譯の判らぬ管を巻き果ては女房の返事が氣に食はぬとてツ子の髷を掴んで撲ち打擲する亂体にツ子は涙ながらに夫の酔の醒むるを待ち近頃の不仕鱈墮落を意見すれば事も屢々なりし好二郎は更に平氣にて「俺の儲けで道樂するに手前が口を出す權利はねイ〳〵」と言ふなり空吹く風ツ子も堪り兼ねてイッソの事別れやうと思ひ定めしこと一度や二度ではなかりしが唯々一家の親類は頑是なき此の水見ずひ自分が會繰った其の後で心優さしき後妻なりと來ますればセメてもの心遣りなれども心ひがみし女ならんには浮き艱難の絶ね間ことはなく物心の付いた頃には必ず現在の生みの母を慕ふは今より判り切つたこと……ソレかといふて今の自分の境遇は……と思はず堰き上ぐる涙を袖に押へ獨り胸をば痛め居る中にも夫の亂行は日に増し募り折角辛棒して貯へし金も今は追々と減じ行き從つて一家の暮し向きも不如意となるのみなるよりツ子の心配は一方ならず明け暮れ一日も早く夫の素行の治まるやう神佛に掛け祈り居りしが一旦斯く墮落の深間に踏み迷ひし二郎は却々に改悛すべくもあらず軈て日を經る中に終には近所の外聞はたろか妻子の手前をも憚りなく時に素性も知れぬ料理屋の女をば連れ來りて家に泊め朝から巫山戯居る体墮落近所のものも見るに見兼ねて意見を加ふることも屢々なりしが开は何れも水の泡ツ子も今はホト〳〵思案に掻き暮れしが又人が違つて意見をすれば夢の醒むることもあらうものをとツ子は或る日國元の母親に家事手傳ひ旁渡韓し呉るゝやうとの書面を出し軈て母の來るを待ち受け實は家事手傳とは表向きの口實實は斯く〳〵コウ〳〵の譯何卒ソナタより夫が本心に立ち歸るやう意見を頼みますとの娘の言葉を聞き届け母親は或る日二郎に向つて穏やかに物の道理を述べテン〳〵と説得せしに二郎はイツカナ聞き入れざるのみか寧ろ母親を五月蝿く思ひ果ては邪魔物扱ひにするにぞ母も終に呆れ果て再び國元へ歸へり適度はツ子の兄をば寄越したるに其の兄といふは人並よりた人善しにてトテも他人に意見を加ふる程の度量なく唯セメてもの相談相手にツ子の苦痛の幾分を分つのみなりしが二郎はソレさへ不滿に思ひ現在義兄弟の間柄なるにも拘はらず或る日否から放逐したり

●韓人の自殺

ナイフにて動靜脈を掻き切る……原因は土地賣買の纏まらざる爲め(か)

去る二十七日午前七時頃東部蓮花坊巡遷坊十四統三戸林森吾なるものが自宅を去る一丁半許りなる同洞の間道を通行中圖らずも傍の芋畑の中に一名の勞働者らしきもの鮮血にまみれて倒れ居るを發見せしかば其の旨直ぐさま附近の派出所に報告せしより東部警察署にては加茂警部山本囑託醫を從へて現場に臨み檢視を遂げし所傷所は頸部と喉咽部との二ケ所にて致命傷は動靜脈を斜めに掻き切り深さ一寸五分長さ三寸の傷を負ひ居り傍らには鋭利なるナイフ捨てありたりサテ此の者の住所は東部蓮花洞巡遷坊十統二戸にて姓名は姜潤福(二十)と呼び人力車夫を營業となし居りしが由來同人は車夫風情に似合はず性質温順にしてドチラかといふと萬事を氣に病む内氣な方なるが根が正直者丈ありて無駄な金とても一厘も使はず稼ひで溜める一方なるより近頃は小金も出來從つて一家何不足なく暮し居りしといふ原因は死人に口なし知る由とてはなきも妻女申姓女の申し立てに依れば同人は客月初旬中部管内のある居宅に住ひ居る中今の家屋をば周旋するものありて買ひ入るゝこととなし同月廿八日移轉せしが其の周旋人といふが惡き人物にて中に這入つて過分の口錢をセシめんものをとたくらみたるより何時迄も先方との間に纏たる契約纏らず爲めにソレをば常に苦に病み居り「困つた〳〵」と嘆聲を漏らせしことも屢々なりしかば定めて夫等の事が原因となり思案に暮れし結果此の始末に及びたるものなるべしといふ而して同人は二十六日の夜より外出し二十七日に至るも歸り來らざるより實は家人のものも不思議に堪へず心當りの知り邊の家を尋ね周らんものをと思ひ居る矢先き此の不幸の出來事を耳にして取るものも取り敢へず出頭せし次第なりと妻女はあたりをも憚らず泣き崩れたりといふ死骸は早速妻女に引き渡したり

商店覗き

▲天祐堂藥店▼ 比較的新築の店なれど場所柄丈けに商賣は盛んなものなり主人は山岸氏多年斯商に從事せる經驗上調劑巧妙取引機敏同業者中夙に手腕の名高し番頭はヒンからキリ迄網羅せざるはなく店員又主人の意を體して克く店務に鞅掌し居れり場所は本町十一丁目郵便局前の藥屋とさへいへば誰でもうなづかるべし

▲富田靴店▼ 製造念入にして堅牢價格低廉にして他に比類なしとは自ら同店の誇號する所なるが同店の評判を俟つ迄もなく京城中での洋靴商としては恐らく二本の指を下らざるべし店員は丁寧主人は熱心内儀亦商賣上手なり得意先は一般に行き亘り居れど重もに陸軍統監府へ御用を勤め居れり店舗は本町一丁目支店は同六丁目なり

●高等官の劍尻 去る十四日大韓醫院開院式の際統監府の某高等官の劍尻及[illegible]一個遺失しありたるを東部警察署へ保管しあるが心當りはなきや

●ボヤ 一昨日午前八時半西部夜珠峴昌染洞六統二戸金鎭泂方に出火ありたるが原因は隣家の温突の火より移りたるものにて直ちに消止めたり

●指輪現はる 一昨日明治町一丁目吉川好松方へ二名の韓人指輪を賣りに來たりしより調べ見たるに此指輪は先頃盗難に遭ひたる際持ち去られたるものなるより好松は直様之れを同町派出所へ届出たるが韓人等は署に引致され取調をうけたり

●騙りそこなひ 東京生れの田中大次郎なる者は一昨日新町一丁目某檢事宅に押し行き大小二個の刀を示し路銀にしたき故是非とも買求め呉れる樣に妻君に強制し居る處を折柄通りかゝりたる巡査部長之を認め南部署に引致の上昨日拘留十五日に處せらる

●花奴のお灸 新町月下樓の花奴は其筋の許しなく旭町大韓商會へ外出なしたる廉により昨日一圓のお灸をすゑらる

●狂犬を撲殺す 旭町一丁目坂田方の飼犬は度々通行人に咬みつく事ありたるより昨日其筋にて撲殺せり

●腸窒扶斯 蓬萊町二丁目二番戸上田又五郎([illegible])は廿八日腸窒扶斯に罹り青坡病院に送られたり

間可娯欄(廿一)

●郁々逸 (本紙登載廣告) 魚友痴史

▲資春樓の菊●●●●●

△樓主の丹精今現れて開く美福の乙女花▽

△咲も咲たり籬の菊は何れ劣らぬ色競べ▽

△飾る花牆の菊種々に化粧凝して咲匂ふ▽

△色香に迷て浮氣の蝶が通ふ廓の百夜草▽

△姿しや昔のまだ禿菊杖と頼みの人も無▽

●天氣豫報(自廿九日午後六時至三十日午後六時)

西の風曇

廿九日午前六時各地氣象概況 高氣壓は滿州附近にありて一般に北風卓越し北部は晴天なれども他は曇天なり

廣告

日本育兒院慈善演藝會決算報告

收入總額

一金五百十八圓二十錢也

内譯

一金四百四十三圓五十錢 入場券賣上高

一金十圓 慈善販賣利益

一金五十五圓七十錢 臨時寄附金

切符取扱者芳名

一金七十四圓五十錢	日本基督教會
一金廿五圓	組合教會
同 廿四圓	聖公會
同 七十五圓	メソヂスト教會
同 二十六圓	青木信時氏
同 三十一圓五十錢	三井物産會社
同 三十一圓	神田喜三氏
同 十九圓五十錢	京口貞子姉
同 十七圓五十錢	黒田太久馬氏
同 十五圓	市原ツギヱ姉
同 十三圓五十錢	松井茂氏
同 十圓	佐々木三郎氏
同 八圓五十錢	草柳孝子姉
同 六圓五十錢	上杉松太郎氏
同 四圓五十錢	松尾元之助氏
同 五十一圓五十錢	會場貸上金

寄附金芳名

一金十圓	三井物産會社
一金十圓	渡邊ヨシ子姉
一金十圓	高橋鑰四郎氏
一金五圓	吉田狂介氏
一金五圓	黒田太久馬氏
一金三圓	國分象太郎氏
一金三圓	藤井リヱ子姉
一金二圓	京城組
一金二圓	水野氏
一金一圓	桑原氏外十三名
一金一圓	淵澤能惠子姉
一金一圓	市原ツギヱ姉
一金一圓七十錢	無名氏
一金五十錢	長谷川氏
一金五十錢	野崎氏

支出總額

一金三百〇二圓六十六錢

内譯

一金四十五圓九十六錢	一行宿泊料
一金四圓〇六錢	人夫賃
一金百四十二圓六十五錢	小屋料及電氣料
一金八十錢	カーバイト
一金五圓	樂隊食料の内へ
一金十六圓	印刷費
一金十四圓	雜費
一金八圓五十錢	活動寫眞諸雜費
一金十二圓	京城準備金
一金十圓	辨當代
一金八十五錢	印判代
一金七十圓廿四錢	演藝者謝禮
一金二圓六十錢	感謝料

差引 金二百十五圓五十四錢

右之通に候也

十月廿日 會計 山口照平

廣告

來十一月三日天長の佳節に付ては例年の通り居留民一般祝意を表する爲同日午後五時より日本人倶樂部に於て祝賀會相催度候間御賛成相成度此段廣告候也

追て御賛成の諸君は會費金貳圓を添へ京城居留民團役所に御申込被下度候

明治四十一年十月二十七日

(いろは順) 市川盛宏 和田常市 中村再造 熊谷頼太郎

無煙炭 特色 火付易く火力耐久價格低廉
用途 汽鑵、暖爐、竈用に適す
周防德山海軍省煉炭所東隣 谷口無煙煉炭工場
京城特約店 京城南大門通 電話三〇六番 巴商會 韓國一手販賣
京城太平町二丁目 神田組

落語

一ツ穴（十三）

妻「御心配なさるな然んなに何もお隠し遊ばさないたつて好ぢやア有りませんか夫りや男の働きですから何ぼ放蕩たつて決して嫉妬ケ間敷い事は申しません隠して放蕩なくつたつても好いふうなもの妾も御存知の通り兄弟は無し其程貴郎が可愛いと思召すなら家へ引取て兄弟に成り貴郎が何處へでも連れて遊びに御出で放蕩たとて家内の兄弟ですと云へば妾も心持が好し貴方も世間で聞くが云はれず家内は成る丈交情を好く保て居る定めて主人の敎へが好いのだらうと云はれ妾も肩身が廣ければ貴郎の光りも増す訳り大諸屋の為にも成る譯です夫是に就ると打明て下さらないんです

牢「誠に済ないよ兜を脱での降参だ實は打明て云へば好かつたんだが如何うも今日云ふ明日云ふと言そびれて漸う云ふ事に成つたんだが此間も意洞を並べられた日にやア歸る来へ歸つて話しを為せう君何んなら御前も然う云つて進るから一足先へ御歸り

妻「御一所に歸りませう……

牢「一所に行かなくつても好いぢやア無いか妾が居ないなから先へ御歸りと云ふんだよ

妻「何うせ妾の側な事アと一所に歸るのは御嫌でございませう

牢「ナニ然うでも無ア云ふ理由ぢやア無い先へ御歸りよ直に歸るから先へ御出

妻「然う云はれ出せ…然んな分ちねへ事を云はねへ様な分らない……家へ歸つて

牢「所に出ては極りが悪いから一足先へ御出

妻「何うせ妾は分りませんよ

牢「然しを残つから御出でてんだよ分らねへな

妻「其を然う引張たつて仕方がない此處を歸るよ……エイ何を爲やアがるんだ何をでと云ふんだ歸らないとは云はないよ直ぐ然う袂を引張やアがるんで人之れ程云ふのを思うから謎て居るんだ增長やアがつて……に分らねへか勝手に爲ねへ〳〵乃公が悪い止しねへ〳〵勝手に爲ねへ何を爲やうと男の働きだ何を巫山戯たことを云やアがるんでへ面白くも無へ悪いと思ふから乃公が一目も二目も置て話しを爲て居るんだ巫山戯た眞似を爲やアがつて

ポカリと頭を二つ許り撲ちました「続うなる御女中は無分別なもんで突然胸倉へ手を掛ける奴る

牢「何を爲るんだ……………

と大髷を摑る元結がプッリと切れたから亂髮に爲て武者振り付く奴を撞那が擲にあつた御差身の皿を投げ付けるた内儀さんヒヨイと躱た拍子乃公の頭へ打付けたから耳の間へオゴが刺さつて鼻の頭へ大きる下女は臺所から飛出すたん隣で御客が揃ふ猫が飛込んで來て看て仕るへ遊込ひ耶一出す騒助だつて文を居られないや突然

インペリアル GDS 土耳古煙草直輸入卸小賣
本品ハ特ニ原料ヲ精選シテ製シ特色ノ風味香氣ヲ有シ最モ高尚ナル飲料ニシテ來客用ニ適セリ
出張所 明治町壹丁目
ジーデーシエリス會社 エムジーシエリス

告在韓清國人
第四十次一萬圓大連票 西暦十一月三日
第二十四次一萬圓安徽票 中暦十一月十日
第八十二次五萬圓湖北票 西暦十一月十七日 中暦十一月十三日 十月二十日
發賣金 大連全紙金壹圓參拾錢 安徽全紙金壹圓貳拾錢 湖北全紙金七圓五十錢（小切八十錢即ち十分ノ一）
確實發賣如遠隔地方御購求者御貯金並ニ郵券御送付不誤主願
第三十九次大連彩票由弊店發出
一〇三二〇 特 四彩 金參百圓
三四三三七 得 四彩 金壹百圓
右票御所持の御方至急御來店彩金御引替被下度候也
京城南大門通小廣橋角
西洋雜貨、洋酒、食料品、各國煙草、洋菓子、化粧品、新式椅子、毛地氈、油地氈、疋頭各種、更紗卸小賣商
清商 德興號
本店 仁川支那町 德興號

弊店の活動
九月以來大改良廉價販賣に引續き今回特に天長の佳節を祝し正札の一割引大販賣大賣出し但し十月廿三日より向ふ十日間
VERY GOOD SHOES 良 堅 靴 保 險
京城本町一丁目 富田靴店本店
同 林町六丁目 富田同支店

神佛葬具請負 並に佛具販賣
貧困者は特志取扱申候
京城南山町四丁目（花月向）
雜誌 大阪佛教取次所 左文字屋
取次 電話八四九番

梅毒 男女 生殖器病 遺精、早漏、交接不能等
癩病 皮膚病 こせ、ちやくろ、なまづ、ひせん、がんがさ、いんきん、たむし、ねぶと、しらくも、抜毛症
よこね ●● いぼぢ、あなぢを切らず無痛治す療
美顏術 顏のあを、しみ、そばかすを除き美麗の容貌となす
院長 東京醫科大學 皮膚病梅毒科專攻
京城米倉町六十一番戸（寺内ヨリスル奧）
京城皮膚病梅毒院

今回京城水道通水致候に付本日より弊湯は同水道の良水を用ゆることに致候且入浴料は從前の通に候間相變らず陸續御入浴御引立の程願上候
水道 良水 專用 日の出湯
京城旭町一丁目 電話七四八番

御卸小賣商
西洋雜貨、洋酒、食料品、各國煙草、洋菓子、化粧品、洋反物、毛氈、各式毛布、支那緞子、紋繻子、繭紬類、各國更紗、彩票每月販賣仕候
確實發主如遠隔地方御購求者御貯金並ニ郵券御送付不誤賣願
京城銅峴十八銀行通
同順泰 本店
仁川港支那町八番戸
群山同順泰支店

定價
▲第四十次 大連頭彩金壹萬圓 新曆十一月三日
▲第廿三次 安徽頭彩銀壹萬圓 新曆十一月十日
▲第八十一次 湖北頭彩銀五萬圓 新曆十一月十七日
▲第廿二次 江南頭彩銀四萬圓 舊曆九月廿四日 新曆十一月十八日 舊曆十月十六日 舊曆十一月十三日
大連全紙金壹圓參拾錢
安徽全紙金壹圓貳十錢
湖北全紙金七圓五十錢（小切八十錢即チ十分ノ一）
江南全紙金七圓（小切七十五錢）即チ十分ノ一
湖北彩票根價便宜從の改正
開彩

純良
乳
牛乳元祖 平山牧場
京城大和町一丁目
電話百三十三番

大 命 萬
特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
和洋酒、回精酢、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尚御望に依り商品切手調進仕候
大上商店
（電話二五一番）

石材大販賣
品質の優等なる江華島産を凌ぎ運搬の至便なる京城第一也
開業爲御披露特別勉強大割引を以て可應貴意候也
京城永樂町 赤門前
土木建築 測量設計 堺事務所

京城本町二丁目 ヌノサキ商店
營業品目
▲和洋紙類
○和洋文房具卸小賣
○測量製圖用料種尺度類
○最新式眞筆謄寫版發賣元
▲諸官衙用達

電話開通 五九二番
京城明治町壹丁目
高岡洋服店

開業三週年
謹啓陳者弊店義開業以來不相變大方諸君の御愛顧を蒙り以御陰様盛況に相向ひ候段奉深謝候就ては弊店三週年に相當に付今回メリケン、タバンス保險附最新式流行形各種入荷致候間平常の御愛顧に酬ゐんが爲め十月二十五日より十一月三十日迄非常なる大安價にて大廉價仕候間賑々敷御來店何卒多少に不拘御用命の程伏て奉願上候
尚餘興として金參圓以上御買求めの諸君には抽籤番號札を進呈し御買求の上御氣に相叶不申候節は向ふ一週間以內に御返品御引替にて代金御返戻可申上候
京城本町四丁目
中村時計商店

移轉廣告
今般左記の處に移轉し從前の通り一般急患者診療の需めに應ずる爲ほか病室を增設し隨時入院治療を諾す
京城旭町二丁目（理事廳後）
院長 京城理事廳嘱託 醫學得業士 富久尾湊
富久尾病院

入院隨意
京城黃金町三丁目（元阪井病院跡）
院長 陸軍三等軍醫正 高井貞治
高井醫院
（電話二〇六）

煙突掃除 ストーブ据付請負
電話四十四番
衛生社

たどん卸小賣
京城米倉町七四
荒田たどん工場

梅毒 淋病專門
眼科 外科
院長 醫科大學選科卒業
十字病院

銘茶 京城本町二丁目 高木至誠茶舖

產婆 並に マッサージ 開業
南山町三丁目百十番戸（日本人倶樂部下手）
今般前漢城病院内科部長池田醫伯勸誘に從ひ前記の場所にて開業仕候
電話番號四二四番
橫山こいと

梅毒科 產科 內科 外科 婦人科 小兒科
入院隨意
京城南山町三丁目
吉田病院
診療可否

直輸入外國煙草御披露
一トルコ紙卷 一エジプト紙卷 一ハバナ葉卷 一マニラ葉卷
其他パイプ、ケース、等附屬品一切右新荷物到着に付此際特別廉價を以て大勉强販賣可致候間御試驗の上御用向の程願上候
京城本町一丁目
トルコ煙草日本商會
D. C. MENEASCO

日本郵船會社 汽船出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 郡回漕會 電話三九番
京城南大門通 巴商店 電話三〇六番

●釜山長崎門司神戸行 山東丸 十一月廿一日後三時出
●大連、大沽、牛莊行 高砂丸 十一月五日後一時出 山東丸 十一月十日前五時出
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 十一月十九日後一時出
●釜山、元山、浦潮、清津、城津行 立神丸 十一月十一日
●新潟丸 大連行 月日正午
注意 御乘船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄御送迎可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船附場ヘ待ノ事

●新聞料 一ケ月金六十錢 ▲三ケ月金壹圓七十錢 ▲六ケ月金三圓三十錢 ▲一ケ年金六圓五十錢 ●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行四十錢 ▲四號活字十九字詰一行金五十錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太郎
發行所 京城 京城新報社 電話六〇三番